

## 意見交換会実施結果報告書

様式 2

番 号	22-2
案件名	中野区食品ロス削減推進計画（案）について

## 1 意見交換会の実施状況（自治基本条例第14条の規定に基づき実施したもの）

## (1) 実施概要

合計実施回数	2 回
合計参加人数	4 人

No.	日 時	会 場	参加人数	区側出席者 (職名)
1	令和4年10月21日(金) 19時から21時まで	区役所9階 第11会議室	0 人	ごみゼロ推進課長
2	令和4年10月22日(土) 10時から正午まで	区役所9階 第11会議室	4 人	ごみゼロ推進課長

## ● 配付書類

・中野区食品ロス削減推進計画（素案）
--------------------

## (2) 意見交換会における意見・質疑の概要と区の見解・回答 ※1

合計意見数	16 件
-------	------

## 【計画の達成目標について】 ( 3 ) 件

No.	区民からの意見・要望	区の見解・回答
1	食品ロス削減の達成目標を2030年度までに1,961トン(年2%減)とした根拠を知りたい。	国の「食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針」及び「東京都食品ロス削減推進計画」において、2000年から2030年までに食品ロス量を半減するという目標を掲げている。都の削減率に合わせ、毎年度2%減を目標とした。
2	達成目標が区民意識についての消費者の目線のものしかない。区民向けの施策は検討しているが、事業者向けの施策は検討していないということか。	区では、区内事業者と連携し、食品ロス削減協力店登録制度や手前どりキャンペーンなどを実施してきた。今年度は、計画に先立ち区内食品事業者へ実態調査を行ったところである。調査結果等を参考に、事業者向け施策について検討していく。
3	今までの取組でどれくらいの効果があったのか。取組を推進することで、目標は達成	区民一人あたりのごみ排出量や生ごみにおける食品ロスの割合は減少傾向にある。ま

	できそうか。	た、食品廃棄や食品ロスの削減を心がけている区民の割合は年々増えているという調査結果も出ており、これまでの取組による効果もあると感じている。目標達成に向け、引き続き取組を推進していきたい。
--	--------	---

【計画の推進体制について】 ( 2 ) 件

No.	区民からの意見・要望	区の見解・回答
1	計画を推進していく上での関係団体とは何を想定し、どのように連携していくつもりか。連絡会のような組織を作るなど、具体的な考えはあるか。個々の繋がりだけではなく、組織化して「推進体制」を作り、その仕組みを通じてPDCAサイクルで回していくとよい。	区は、社会福祉協議会や新渡戸文化学園、食品ロス削減協力店登録店などと連携して事業を実施している。今後の事業内容に応じ連携団体を広げるほか、団体同士の横の繋がりを広げるような取組も検討していきたい。
2	健康推進の部署等、他部署との連携は考えているのか。	ごみゼロ推進課が中心となり、環境、学校教育、産業振興、保健、福祉等の庁内関係部署と連携していく。

【目標達成に向けた取組について】 ( 8 ) 件

No.	区民からの意見・要望	区の見解・回答
1	小学校の教育課程を通じた取組を推進するのはとてもいいことだと思う。スケルトン車も活用し、ごみ減量とともに食品ロス削減を推進することを期待する。	今後も、教育課程を通じた取組や、スケルトン車やごみ減量キャラクターを活用した事業など、子どもたちにも興味を持てるような取組を行っていく。
2	江戸川区や八王子市ではフードシェアリングネットサービスを導入している。フードドライブは家庭からのものに限っているようなので、事業者の未利用食品活用のために導入してはどうか。	実施している自治体の状況などを参考に検討していきたい。
3	事業者に対して、食べ残しを減らすためにどのような取組、アドバイスをしていくのか。事業者にメリットがあるような支援等の具体的な施策は考えていないのか。	区内事業者と連携した事業として、令和2年度から食品ロス削減協力店登録制度「なかの☆もったいない ぱくぱくパートナーズ」を実施している。登録することにより、区ホームページでの店舗のPR、イメージアップ、従業員の意識の向上などのメリットがあると考えている。

4	大きな企業と区が連携協定を結んで、事業協力をしている事例はあるようだが、それができない小規模事業者への支援として、コンサルティング会社等と事業協力をして、区が成功事例を紹介するなど、後押ししするようなことができないか。	全ての食品関連事業者を対象とした食品ロス削減協力店制度「なかの☆もったいないぱくぱくパートナーズ」を引き続き推進するとともに、効果的な事業の実施について検討していきたい。
5	事業系の食品ロス対策にもっと力を入れてほしい。外部委託をするなど、民間の力を借りて取組を行う方が事業系食品ロス削減の取組が早く進むのではないか。事業者は商売がかかっているのに、仕組みづくりが重要だと思う。	
6	過剰包装をやめる、ばら売りを増やすことでごみ減量と食品ロス削減の両方の効果が得られる。そういった食品ロスだけではない観点で事業者との連携を考えてほしい。	計画素案では、事業者の役割として「食べきれぬ小分けメニュー・少量販売などを採用します」と掲げている。食品ロス削減はごみ減量施策の重要な取組であると考えており、今後も広い視点で事業者との連携を検討していきたい。
7	無関心層へのアピールを強化していく必要があると思う。	食品ロスへの関心の低い方たちへのPRが重要であり、目に触れたときに興味を持ってもらえるような情報発信に努めていく。
8	1人あたりのごみ量は着実に減っているが、計画でそれを加速させるような仕掛け作りが必要だ。これまでやってきたことを上書きするだけでなく、区民が取り組もうと思えるような施策があった方がよい。	目標達成に向け、今までの取組をより推進していくとともに、新たな取組についても検討していきたい。

【その他】 ( 3 ) 件

No.	区民からの意見・要望	区の見解・回答
1	生ごみの堆肥化について、廃校になる小学校等を活用するなどの方法も考えられると思う。どのような取組を検討しているか。	中野区の特성에あった取組を検討していきたいと考えている。
2	生ごみを堆肥化しても都市部では活用する場は少ない。堆肥以外のごみ減量施策を考えるべきだと思うが、何か考えていることはあるか。	「リデュース＝発生抑制」による食品ロス削減の普及啓発に力を入れている。余れば食品廃棄に繋がるため、買いすぎない、飲食店等で注文しすぎないということをPRしている。
3	東京湾の埋立処分場の逼迫状況について言及した記載がない。そういった現状に触れてもよいのではないか。	上位計画である中野区一般廃棄物処理基本計画において、最終処分量の削減の問題について記述している。食品ロス削減は、ごみ

		減量のための重要な取組であるが、本計画は食品ロスの現状とその削減の取組などを内容としている。
--	--	--

(3) 意見交換会における意見により変更した箇所とその理由 ※2

No.	変更した箇所	変更の理由
.	なし	

2 その他の参加の手続き実施状況（個別意見の提出、団体等との意見交換等）

なし

※なしを選択した場合は、以下記入不要。

(1) 個別意見の提出

種 別	意見数
窓口	件
電子メール	件
ファクシミリ	件
電話	件
郵送	件
計	件

(2) 団体等との意見交換の実施状況

合計実施回数	0	回
合計参加人数	0	人

No.	団 体 名	日 時	参加人数	区側出席者（職名）
		会 場		
			人	
			人	

(3) 個別意見の提出、団体等との意見交換等に関する特記事項

--

※1 計画（条例）全体、項目ごとに作成してください。

※2 意見交換会における意見により区案の加除修正を行なった箇所がない場合も、その旨を明記してください。